

教育研究評議会（平成19年度第2回）議事要旨

1. 日 時 平成19年5月22日（火）13：30～14：28
2. 場 所 事務局3階 会議室
3. 出席者 安田学長（議長）
千原理事、小笠原理事、五十嵐理事、
横矢情報科学研究科長、河野バイオサイエンス研究科長、垣内
物質創成科学研究科長、松本（裕）情報科学研究科副研究科長、
真木バイオサイエンス研究科副研究科長、冬木物質創成科学研
究科副研究科長、上田保健管理センター所長

欠席者 村井理事

出席監事 岩渕監事

陪席者 佐藤教育研究支援部長、宗近経営企画部長、長川企画総務課長、
中條学生課長、奥田研究協力課長、大野学術情報課長、小林人
事課長、河野会計課長、荒井施設課長、大下企画総務課課長補
佐、辰巳企画総務課課長補佐、松山企画総務課企画・法規係長、
森下企画総務課企画・法規係員

4. 議 事

（前回議事要旨の確認）

「教育研究評議会（平成18年度第11回）議事要旨（案）」について、原
案どおり承認された。

（審議事項）

- （1）奈良先端科学技術大学院大学講座に関する規程の一部を改正する規程
の制定（案）について

議長から、奈良先端科学技術大学院大学講座に関する規程について、
情報科学研究科情報処理学専攻に基幹講座「インタラクティブメディア
設計学講座」が新設されるに伴い、所要の改正を行いたい旨の説明が行
われ、審議の結果、原案どおり承認された。なお、議長の説明に先立ち、
横矢情報科学研究科長から、今回の改正の趣旨について説明が行われた。

- （2）ボゴール農業大学との学術交流協定の締結について

小笠原理事から、本学とボゴール農業大学（インドネシア国）との間

で学術交流協定を締結したい旨説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

(報告事項)

(1) 各種委員会及び各研究科教授会報告

議長から、次の委員会等の議事概要について報告が行われた。

- ・第1回総合企画会議（平成19年4月4日開催）
- ・第1回情報科学研究科教授会（平成19年4月19日開催）
- ・第1回バイオサイエンス研究科教授会（平成19年4月11日開催）
- ・第2回バイオサイエンス研究科教授会（平成19年5月9日開催）
- ・第1回物質創成科学研究科教授会（平成19年4月10日開催）
- ・第1回全学教育委員会（平成19年4月25日開催）
- ・第1回事務連絡会（平成19年4月10日開催）

(2) 教員人事について

議長から、教員人事（助教1名の任期の更新及び教授1名の退職）について、報告が行われた。

(3) 平成19年度科学研究費補助金交付内定状況について

千原理事から、平成19年5月22日現在の平成19年度科学研究費補助金交付内定状況について、交付内定が206件（前年度217件）で、直接経費825,920千円（前年度873,400千円）及び間接経費120,900千円（前年度66,810千円）である旨の報告が行われた。

(4) ルーバン・カトリック大学との学術交流協定の締結について

小笠原理事から、本学とルーバン・カトリック大学（ベルギー国）との間で、昨年度、本会議で承認された学術交流協定及び覚書を2007年9月1日から5年間有効とし、締結した旨の報告が行われた。

(5) オープンキャンパス‘07について

千原理事から、平成19年4月21日に実施されたオープンキャンパス‘07について、研究科デモ・パネル展示に1,732名、体験プログラムに684名、VBLに150名、図書館に80名、受験生対応に201名、学生宿舍見学に87名、延べ2,934名の参加があった旨の報告が行われた。

この中で、千原理事から来年度は秋に開催予定であること、また当日展示していた看板が風により倒れ、幸いにも被害は出なかったが、来年度設置する際は、充分注意を払うよう、各委員・事務局に対して、指示が出された。

(6) 各種委員会一覧について

議長から、各種委員会一覧について報告が行われた。

(その他)

- 五十嵐理事から、
 1. 結城文部科学事務次官来学（5月23日）
 2. 関西文化学術研究都市建設推進議員連盟視察（5月28日）
 3. 日経産業フォーラム2007（6月25日）
 4. 上野の山発 旬の情報発信シリーズ バーチャル⇄リアリティ
見て聴いてさわって冒険体験（8月25日～9月2日）について、説明があり、各研究科に対して協力依頼がなされた。

- 岩渕監事から、学术交流協定締結のメリットについて質問があり、議長から、「学生への授業料免除、海外派遣奨学金申請の必要条件となること等」の説明がなされた。

以 上